

平成23年 12月 吉日

各 位

「かながわあんしん生活支援フォーラム」リーフレットについて（送付）

日ごろから、県政の推進にひとかたならぬ御尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、本年度、認知症サポーター養成促進事業を下記運営事務局に委託して実施しており、このたび、その一環として標記のフォーラムを、県内10か所にて開催することといたしました。

同フォーラムでは、第一部において、認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る「認知症サポーター」の養成講座を、第二部・第三部において、地域の支え合いや高齢者介護への理解をテーマとした、著名講師をお招きしての基調講演と座談会を実施いたします。「誰もが安心して暮らしていける地域づくり」につながるよう、できるだけ多くの県民の皆様にご参加いただきたく存じます。

つきましては、1月開催分の同フォーラムのリーフレットを同封させていただきますので、配架・掲示・回覧等、広報周知への御協力を賜りたく、何卒よろしく願い申し上げます。

神奈川県保健福祉局 福祉・次世代育成部

高齢福祉課 高齢福祉グループ

TEL 045-210-4846

神奈川県「認知症サポーター養成促進事業」

運営事務局

株式会社 コモンズ21研究所

TEL 045-752-0211

かながわあんしん生活支援フォーラム in 平塚

～ あなたが人のため全能力を発揮するチャンス ～

日時：2012年2月8日(水) 14:00～16:40

(開場 13:30)

会場：平塚商工会議所 大ホール

(JR平塚駅 南口徒歩7分)

定員：先着350名(当日受付)

※定員に達した場合、ご入場いただけませんので、予めご了承ください。

入場無料

手話通訳あり

公益財団法人 さわやか福祉財団理事長
弁護士

堀田 力 氏



○ プログラム ○

—14時 開演—

第1部【認知症について】 認知症サポーター養成講座

講師 **野川 利枝 氏** (公益社団法人 認知症のひとと家族の会 神奈川県支部 副代表)

— 休憩 —

第2部【基調講演】

“あなたが人のため全能力を発揮するチャンス”

堀田 力 氏 (公益財団法人 さわやか福祉財団理事長・弁護士)

第3部【座談会】

コーディネーター
野沢 和弘 氏 (毎日新聞論説委員)

対談者
堀田 力 氏 (公益財団法人 さわやか福祉財団理事長・弁護士)

対談者
堀越ひろみ 氏 (公益社団法人 認知症のひとと家族の会 神奈川県支部)

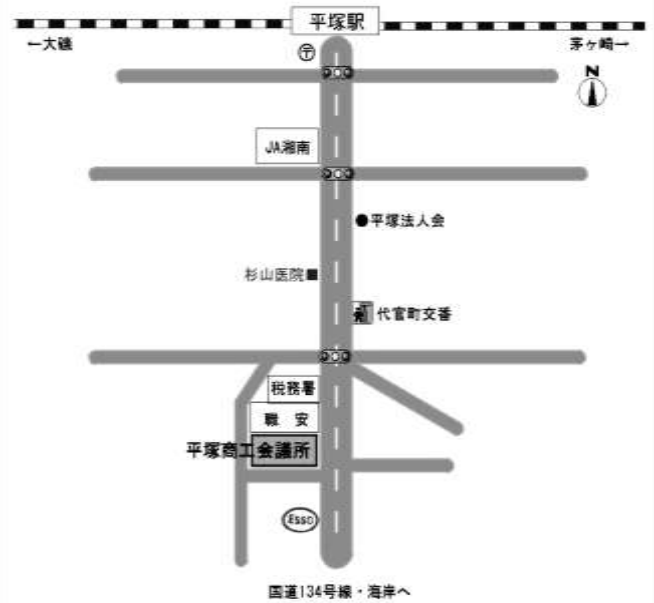


会場：平塚商工会議所
(平塚市松風町2番10号)
JR平塚駅南口徒歩7分



※会場へは公共交通機関でお越しください

平塚商工会議所案内図



主催：神奈川県 (平成23年度 神奈川県 認知症サポーター養成促進事業)
(平成23年度 神奈川県立 平塚ろう学校 地域活性化コミュニケーション推進事業)

共催：横浜市健康福祉局

後援：公益社団法人 認知症のひとと家族の会 神奈川県支部
特定非営利活動法人 神奈川県介護支援専門員協会
ライオンズクラブ国際協会 330-B 地区
毎日新聞社横浜支局

協賛：エーザイ株式会社 / ファイザー株式会社



お問い合わせ:

平成23年度 神奈川県 認知症サポーター養成促進事業 運営事務局
(株)コモンズ 21 研究所 TEL 045(752)0211 FAX 045(752)0242

かながわあんしん生活支援フォーラム in 平塚 出演者プロフィール

●基調講演講師：堀田 力氏（公益財団法人 さわやか福祉財団 理事長・弁護士）

1934年京都府生まれ。京都大学法学部卒業後、1961年検事任官。

札幌・旭川・大津・大阪の各地検勤務、在米日本大使館一等書記官を経て、東京地検特捜部時代にロッキード事件を担当。田中角栄元首相に論告・求刑をし、「カミソリ堀田」と名を馳せた。

その後、最高検検事、法務大臣官房長などを歴任し1991年退官、さわやか法律事務所、及びさわやか福祉推進センター（1995年財団法人さわやか福祉財団となり、2010年公益財団法人化）を開設。他に「介護の社会化を進める1万人市民委員会2010」代表、「認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議」議長、「介護と連動する市民後見研究会」委員などの要職も多数務める。

●コーディネーター：野沢 和弘氏（毎日新聞論説委員）

1959年 静岡県熱海市に生まれる。1983年 早稲田大学法学部卒業、1983年 毎日新聞社入社、厚生省担当、薬害エイズ取材班、児童虐待取材班キャップ等。社会部副部長、夕刊編集部長を経て、2009年4月から現職（毎日新聞論説委員）。元千葉県障害者差別をなくす研究会座長、また現在植草学園大学客員教授、社会保障審議会障害部会委員、内閣府障がい者制度改革推進会議総合福祉部会委員。

『条例のある街』（ぶどう社）、『なぜ人は虐待するのか』（Sプランニング）『あの夜、君が泣いたわけ』（中央法規）等の著書、また『福祉を食う — 虐待される障害者たち』（毎日新聞社）、『もう施設には帰らない』、『殺さないで— 児童虐待という犯罪』（いずれも中央法規）等の共著も多数。

●対談者：堀越 ひろみ氏（公益社団法人 認知症の人と家族の会）

公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部。平成4年ころより、同居していた義母の介護が始まる。

平成9年同会入会。子育てと介護が同時進行し、忙しい日々を過ごしてきた。

平成12年、義母の特別養護老人ホーム入所にもない、同会の活動を始める。

現在は、家族の会として、介護家族への相談支援や認知症啓発のための講演活動、未来の高齢者介護を担うホームヘルパー2級講座の講師、行政委員会の委員等々、認知症への理解を深めるべく活動を続けている。

また、平成17年からは、認知症高齢者グループホーム、デイサービス、ホームヘルプ、居宅介護支援事業所に入った複合施設の運営に携わった。介護サービス事業者として、利用者と介護保険の板挟みとなり、思うようなサービス提供ができないもどかしさから、第三者評価にも携わっている。

